

## 実験計画書作成上の注意への追記 (3)

藤田茂\*

2015 年 11 月 16 日

計画書/報告書作成上の注意が、以下にあるので良く読むこと。

<http://goo.gl/ScWxTU>

実験計画書の作成に、3 時間は必要であると見込んでいる。十分に時間をとって作業を行うこと。実験報告書の作成にも、同様に 3 時間は必要であると見込んでいる。十分に時間をとって作業を行うこと。

利用するアセンブラは AVR AT Mega 168P のものである。情報処理技術者試験で利用される CASL, CASL II では無い

AVR AT Mega 168P のアセンブラに「割り算」命令は無いので、各自で作成したサブルーチンを利用すること。このサブルーチンの説明も計画書に含めること。

実験報告書に、プログラムのソースコードの添付をすること。

万一、温度計測ができなかった場合でも、そこまでの「結果」を書き、考察を行うこと。

計画書の再提出は、報告書の再提出と同様に、木曜日の 16:00 までである。

---

\* fujita@cs.it-chiba.ac.jp